

5月1日
から

住民票・戸籍の証明書の請求などで **本人確認**が法律上のルールになります

町では以前から本人確認のご協力をお願いしてきましたが、住民基本台帳法と戸籍法の改正にあわせて、偽申請の防止や個人情報保護のため、今年5月1日から本人確認をより一層厳格化します。

そのため、住民票や戸籍の証明書の請求、引越しなどの住民異動届、また、婚姻、離婚、養子縁組・離縁、認知の戸籍の届出をするときには、窓口で「本人確認書類」の提示を求めますので、ご協力ください。

本人確認ができない場合は、証明書の交付などができませんので、ご注意ください。

なお、該当する書類がない人や不明な点がある人は、事前にご相談ください。

(1) 次のものを1点お持ちください。

本人の写真が貼付されたもの	運転免許証、旅券、住民基本台帳カード、宅地建物取引主任者証、小型船舶操縦免許証、身体障害者手帳、療育手帳、外国人登録証、身分証明書（国又は地方公共団体の機関が発行したもの）など
---------------	--

(2) (1) がない場合は、次の2点をお持ちください。

(イとイ) 又は (イとロ) (但し (ロとロ) は不可)

イ	被保険者証（国民健康保険、健康保険、船員保険、介護保険）、共済組合員証、国民年金手帳、各種年金証書、共済年金や恩給の証書、住民基本台帳カード（写真なし）、交付請求書に押印した印鑑に係る印鑑登録証明書など
ロ	学生証、法人が発行した身分証明書、官公署が発行した資格証明書で写真をはり付けたもの

今回の法律改正では、本人確認の義務化のほか、証明書の請求者の制限などが設けられています。そのため、代理人や使用者については、さらに委任状などの書面により代理権限の確認もします。

これらの本人確認の詳細などについては、お問い合わせください。

問合せ 町民サービス課 ☎内線202~204

町発行書籍を販売中

役場1階売店で町発行書籍を販売しています。

書籍名	価格
葉山町80年の歩み	2,000円
御用邸の町葉山百年の歩み	2,500円
ふるさと歳時記(一)	700円

問合せ 企画調整課
☎内線333

問合せ 企画調整課 ☎内線三三三

● 個人情報保護制度の運用状況	● 公文書公開制度運用状況
登録件数	分野別請求件数(五二件)
開示請求等	総務部
○件	保健福祉部
二一六件	生活環境部
● 個人情報保護制度の運用状況	都市経済部
不服申し立て	教育委員会
却下	消防本部・議会・監査・その他
不存在	処理状況
非公開	公開
一部公開	二七件
公開	八件
二七件	四件
七件	十三件
七件	一件
一件	四件
一件	二九件
一件	一件

平成十九年度公文書公開・個人情報保護制度運用状況

ぴんぴん書きもの

第2回

「ごみ箱の上手な使い方」

ペットボトルにガラスびん、容器包装プラスチック（以下「容プラ」）、ミックスペーパー、紙パック、白色トレイ……。

環境意識の高まりとともに、ごみの分別は複雑さを増しています。「ごみ箱がいくつあっても足りない！」とお困りの声も聞かれます。

「ごみ箱」は、分別の重要なポイントです。何をどこに捨てるか、あらかじめきちんと決めておけば、よりスムーズに分別できます。

町の環境モニターのアンケートでも、四割近くの人が「ごみ箱は五個以上」と回答されました。段ボール箱やビニール袋を活用されている人も多いようです。

ごみ箱を減らすアイデア

ごみ箱は「出る量に合わせたサイズ」が基本です。工夫次第では、意外に少ない個数で分別できる場合もあるようです。

長柄在住のHさんのお宅では

ごみ箱は「燃えるごみ」と「容プラ」の二つだけ。「容プラ以外の不燃ごみは、量もそれほど出ないので、

小さなビニール袋で間に合います。」容プラ以外の「プラスチックごみ」と「不燃ごみ一般」は、ビニール袋をS字フックにかけてごみ箱代わりにしています。「そのまま袋ごと捨てられて便利です。大きなごみが出た時は、別の場所に移動してしまいます。」

ペットボトル、ガラスびん、紙パック、白色トレイは、さっと洗って洗いかごで乾かし、まとめて納戸の段ボール箱へ。収集日の前の晩に仕分けをします。きちんと乾かしておけば、清潔で安心です。ペットボトルなどは、小さくつぶせば場所も節約でき、町による収集コストも抑制できます。

その他、乾電池は戸棚の小箱へ入れ、ミックスペーパーは余った紙袋を使えばよいので、ごみ箱は二つでも、特に不自由はないそうです。「面倒な部分もありますが、少しの間でごみが減るのはうれしいし、場所を決めてしまえば意外に楽です。」

日々のごみの始末、段ボールやビニール袋を組み合わせて、「我が家に合った快適な方法」を探してみませんか。

問合せ 環境課 内線四五一

葉山歌壇俳壇

短歌

岡田 保子 選

◎この鳥自然のなかにて生れし子のはばたく見れば佐渡の朱鷺もと 金井 比佐
評 生きものの生存できる環境を整える努力で生まれたこの鳥の舞うのを見て、故郷佐渡の同じような状況の朱鷺へ想いを重ねる作者の感慨が読み取れます。

松風の音のさびしさよく晴れしこの昼開けばことにさびしき 近藤 礼
ひさびさに飾りし立雛の給ふらむ彩なる雛菓子京より届く 渡辺 裕子
右膝の打撲、悲鳴は左膝、足は二本としみじみ愛し 米田 宮子
漸うように介護認定思索する気丈な母の卒寿目出たし 山崎みち子
帰り来し孫のはほにも涙あと卒業証書しつかりと抱き 熊本 京子
お下げ髪似合いし友より電話あり掲載歌見たりと、嫁求むとも 石川サヨ子
葱の屑プランターに植えたれば思わぬ丈に育つさみどり 中川 弘子
「滝の坂」のほりつめれば海はるか金波銀波のながき夕映え 沼田 雅子
海沿ひの車窓を焦がす夕焼けを遮る家並みの町に入りゆく 秋吉美代子

俳句 沼田葉櫻子 選

俳句 浅井 一志 選

◎愛し子も母となりたりたり桃の花 熊本 京子
評 桃花は中国原産で観賞用・果実用として栽培され、春を代表する花のひとつである。作者はこの季節になると愛し子の生い立ちを思い起こし、感動するのである。
恙なき一日暮るるや春の月 確井美津子
評 「春月は麗気なるを賞し、秋月は清爽なるを愛でる」などと古来からいわれられている。多忙な一日がつつがなく終わり、ほっとしたところで春月を眺めながら、俳人としての幸せを味わっているのである。

◎初蝶を見しが便りのきつかけに 堀江規弥子
評 今年初めての蝶との出会い。まずだれかに知らせたい気持ちはやまやまのこと。初蝶を見たことはあまりに大切なことでもないかも知れないが、便りのきつかけが、どう変化するか期待感がある。そこに写生とは違う一面。
日向ほこ妻の欠伸が移りけり 池部 貞助
評 非常に平明な作品。季語が日向ほこだけに年齢を感じさせる。定年過ぎの夫婦であるに違いない。夫唱婦随という言葉があるが、妻から移されたあくびで逆だが、ここが面白い所だろう。

投げ釣りや砂に塗れし鱈釣らる近藤 礼
春暁や電池の切れし掛時計 石川 光子
わかめ干す言葉少なに老夫婦 安藤とみ子
日脚伸ぶ間延びして啼く鳩時計 片山 久女
地軸より押し上げられし露の臺 堀江規弥子
昨日より今日より明日娘ごふし 確井美津子
流さるる雛に行く末たくしけり 鈴木 ゆき
啓蟄や柱時計の蝶子を巻く 高梨 久子
多摩墓地や釈迦もイエスも花吹雪 園田 義朗
すみれ草こころ辺りや帰り時 村上 権次

締切は、掲載希望月の前々月末日必着。はがき1枚に、一人3首か3句まで(当季雑詠)、住所、氏名、電話番号を書いて、企画調整課「葉山歌壇俳壇係」まで

◎特選 *共選

町長と語る

トーク広場

第47回

北京オリンピックへ 目標は入賞、そしてメダル

この夏、北京で開催されるオリンピックに、堀内在住の小菅寧子さんが、ウインドサーフィン(RSX級)の日本代表選手として出場します。大学時代にウインドサーフィンと出会い、オリンピックを目標に、厳しい練習に明け暮れた日々。シドニー、アテネでは代表入りを逃し、今回、三度目の挑戦で、晴れて念願の五輪切符を手に入れました。「いざ北京へ」と胸を弾ませる小菅さんに、オリンピックに向けた抱負などを伺いました。

町長 北京オリンピックが間近に迫りました。今の心境はいかがですか。
小菅 正直わくわく、どきどきしています。オリンピックは夢でしたから。仕上げの練習をしつかり積み、最高の状態で本番に臨みたいと思っています。



町長 小菅さんは、いつからウインドサーフィンを始められたのですか。
小菅 大学時代です。関東学院大の新入生の時に、ウインドサーフィン部から誘われ、すぐに入部を決めました。もともと父と兄がヨットをやっていたので、マリンスポーツに憧れがあったのかも知れません。ウインドサーフィンは初めてでしたが、風に乗って大海原を駆ける楽しさにひかれ、すっかりはまってしまいました。

町長 私も昔、ウインドサーフィンをやったことがあります。うまく風をとらえて、疾走している時は本当に爽快ですね。でも、バランスを取るのが非常に難しい。初心者の私はよくセイルを海中に倒してしまい、引き揚げるのにひと苦労したものです(笑)。
小菅 それと恐ろしいのが突風です。小菅さんはセーリング中に怖い目に遭ったことはありませんか。
小菅 一度、死にかけたことがあります。天候が急変して風速二〇メートル近い突風を受け、海に転落しました。高波でボードは流され、つかまる物もありません。それを目撃した葉山マリーナの方がすぐにボートを出してくれ、助かりました。
町長 それでもやめようとはなさらない(笑)。ウインドサーフィンの魅力って一体、何ですか。
小菅 一言でいうと、爽快感ですね。自然の風を受けて、青い海原をどこまでも走っていく。一度、この快感を知ったら、もうやめられません(笑)。

町長 私はスキーが大好きなので、その気持ちはよく分かります。思い切り風を切って滑る爽快感。山と海の違いこそあれ、この魅力は共通ですね。ところで、いつからオリンピックを目指し始めたのですか。
小菅 大学を卒業する少し前です。ナショナルチームの一員に抜てきされ、その時からオリンピックが大きな目標になりました。
町長 最初はシドニーを狙いましたが、力及ばず、次のアテネでも代表入りは果たせませんでした。今回、北京へのチャレンジで、やっと念願の夢を実現し、とても嬉しく思っています。
町長 三度目の正直ですか。よく頑張りましたね。ご両親もさぞお喜びでしょう。
小菅 ええ。家族みんなで中国へ応援に来てくれるそうです。
町長 話は変わりますが、いろいろな国でウインドサーフィンをされ、海上から陸地を眺める機会も多いと思います。諸外国の港町と比べて、葉山の景観はいかがですか。
小菅 海から見た葉山は緑が深く、とても素晴らしい。こんな町はちよつと外国にはありません。葉山に生まれ育って、本当に幸せだと感じます。
町長 葉山は「ヨット発祥の地」でもあります。町の子どもたちに、何かメッセージをお願ひできますか。
小菅 せっかく海に恵まれているわけですから、マリンスポーツに積極的に挑戦してほしい。ヨットだけでなく、ウインドサーフィンをやる子が増えてくれることを願っています。
町長 最後に、北京オリンピックへ向けての抱負を。
小菅 まずは入賞(八位以内)を目指して、ベストを尽くします。もちろん、その上のメダルも狙いにいきます。
町長 町を挙げて応援しますので、ぜひ頑張ってください。そして、素晴らしいお土産話を期待しています。